



特定非営利活動法人  
六甲クラブ

# ROKKO NEWS

http://www.rokkorugby.com

Vol. 2

2009号



～NO RUGBY, NO LIFE～  
LIFE STYLE WITH ROKKO CLUB

## 勝ちたいんや！

六甲ファイティングブル  
日本選手権ロード・  
第二章スタート！

主将・遠藤信太郎インタビュー

謙虚にひたむきに精進。  
本当にいいチームを作っていく。

創部40周年、(株)ワールドとのコラボレーション...。今季、日本で最も注目されることになったクラブチームのスキップを務めるのは、遠藤信太郎(27)。風のように駆け抜けた春シーズンを振り返ってもらった。

どんな経緯で主将を打診された？

「昨季の最終戦(1月11日、全国大会1回戦、vs北海道バーリアンズ)で負けた時、僕はケガで外から見ていたんですが、ウチも世代交代が進んできたかなと。若手がそろそろチームの舵取りをしていかなきゃ六甲の先はないと思っていました。」

(前主将の)マイク(伊藤)から「次はお前しかいない」といわれた時は驚きましたが、「ディフェンスの強いチーム作りに賛成してくれた藤原や、同世代の仲間、六甲を長年支えてきた先輩方とたくさん話し込んで、やる決意を固めていきました。」



遠藤信太郎(えんどう・しんたろう)  
82年1月14日東京都生まれ、27歳。山羊座のO型。182cm、91kg。西武学園文理→早大。現在は(株)ワールドに所属。職場は大阪国際空港で、美人CAに囲まれた毎日を送る。さわやかな声と、人間離れしたふくらはぎが自慢。早大1年生時の体力測定の下半身筋力部門で、当時のレギュラーメンバーをはるかに凌ぐ数値をたたき出したことからついたあだ名は「ハギ」。六甲クラブでは06年からプレー。06年度全国大会決勝(秩父宮)ではマン・オブ・ザ・マッチに輝いた。

「もっとDFを磨いて、タイトな試合をモノにできるようにチームを作っていきます。10年来的日本一奪回に向けての通過点ですから、近畿ブロック大会、関西トーナメントも完勝して、全国に行きます！」  
北海道遠征、単独で帰路に着いた遠藤主将。機内ではずっと試合のビデオを眺めていたという。練習や試合でも、メンバーには常に厳しさを求めつつも、「厳しくやっていかないと、『こんなんでいいんだろ』みたいな空気がチームに蔓延します。決勝での1点を争うプレーに反映されてしまう。危機を掴み取るのは僕と藤原(副将)の役目。嫌われるのは覚悟の上。今年は本当にチャンスだと思ってます。謙虚にひたむきに精進していきます」と言葉に力を込めた。

全国大会への「関西代表枠：1」を取りに行く。

その「ツケ」が夏遠征のバーリアンズ戦に出た？

「完全にブレイクダウンで負けてました。勝利へのキープワード『セットプレー』ブレイクダウン・組織DFが何一つできてなかった。また試合中での修正能力が低く、パニックに陥る選手が何人もいたのが分かりました。僕自身もシヨックで、宿舎でしばらくぼう然としてしまった。ブレイクダウンはもっと激しく練習でやっていかないと。」

兵庫選手権は予想通りの圧勝通過だったか？

「トップチームの選手から学ぶことは本当に多い。特にブレイクダウンのこだわりや、スピードの緩急は見習うところですね。周りも積極的にコミュニケーションを取っており、いい傾向だと思います。チーム内の競争力が上がり、メンバー発表に毎回悩むのは嬉しい悲鳴です(苦笑)。」

新しく加わったワールドの選手に感じていることは？

## ROKKO NEWS



土台となる六甲ファイティングブルの選手に、高校生がぶつかっていく。差すような日差しの中、集中してタックルバックに向かう高校生ラグーマン。



5月にも兵庫ラグビースクールを対象にラグビー教室など、いくつかイベントを企画していたが、新型インフルエンザ騒動で残念ながら中止となった。秋シーズンにも、このようなラグビー教室を予定している。



六甲クラブの「もうひとつの活動の柱・地域貢献活動」となる、地元の子供達を対象としたラグビー教室「六甲ラグビークリニック」が、6月の7日・28日に芦屋総合運動公園グラウンドにて開催された。

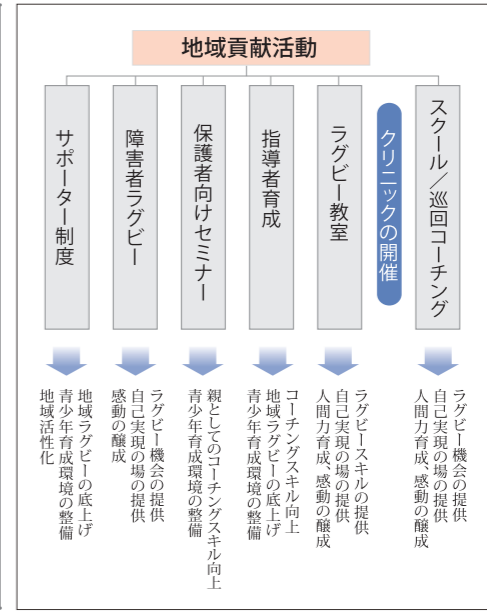


各回とも六甲中・高校、尼崎西高、須磨翔風高から約100人が参加。六甲ファイティングブルからも、遠藤主将はじめ多くの選手がコーチとして、高校生ラグーマンと交流した。

◆伝えたい！ラグビーの楽しさを！  
「六甲ラグビークリニック」開催

◆地域とともに

少子高齢社会となった今、将来を担う青少年の育成とアクティブシニアの知恵と継承、活躍機会の提供は不可欠です。六甲クラブは指導者育成と保護者支援、更にアクティブシニアを含めたサポーターと強調し、青少年育成環境の構築を図ります。ラグビーという教育コンテンツを通じて、地域復興と地域活性化に寄与することを目指しています。



◆新ジャージー完成！9/27初見参！

「六甲ファイティングブル」待望の新ジャージーが完成した。9月27日の近畿ブロックT・準決勝(吉祥院C)から使用される。ファーストジャージ(上)は六甲クラブのチームカラーである、闘魂レッドとワールドブルーのコラボレーション。秩父宮へプライドと新しい歴史を染み込ませていく。



◆サポーター募集のお知らせ



六甲ファイティングブルではサポーター募集をしています。クラブの活動を行うためには、何よりも実際に活動するクラブ会員一人ひとりの熱意が大切ですが、併せて、熱意を行動に移すための財政基盤をより強固なものにすることも必要となります。

できるだけ多くの方々からご支援いただき、それに応えられるクラブチームとなるようクラブ一丸となって取り組んで参りますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●サポーターの年会費と特典内容

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年会費 5,000円	年会費 1口10,000円 (原則2口以上)	年間50,000円～(要相談) (原則2年契約)
予定している特典 ・会報の送付 ・試合、行事などの案内 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・試合、行事などの案内 ・後援企業(団体)交流会 ・企業(団体)広告の掲載 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・ジャージー・パンツなどにロゴ ・団体、法人会員と同等の特典 ※詳しくはお問い合わせください。

プレイヤーも募集しています！

お問い合わせ先:

特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局  
(担当: 中島誠一郎)  
お問い合わせはEメールにてお願い致します。  
e-mail: rokkoclub@hct.zaq.ne.jp  
FAX: 079-243-1156



見学・入部を希望する場合はHPからお申し込みください。  
http://www.rokkorugby.com

# 走り抜ける！六甲ファイティングブル！！

## 兵庫クラブ選手権5戦で87トライ529得点で圧勝通過！！

決勝(6月14日・神鋼灘浜)

六甲ファイティングブル		芦屋クラブ	
22	014	55	14
31	017	38	17
6	40	0	14
38	0	0	0
55	計14	0	0

▽交代選手 榎村政身⑩(柏原高) 北迫 松谷 二郎⑩(大体大) 田窪 飛平⑩(関東学大) 遠藤 飛田⑩(大正) 田部、野中 壯太⑩(関学大) 中西

北迫 安田 稲垣 大内 遠藤 打出 伊藤 志本 由藤 藤田 井内 山西  
 孝治⑩(大東大) 大田 隆太郎⑩(大産大) 北迫 隆太郎⑩(大産大) 北迫 隆太郎⑩(大産大) 北迫 隆太郎⑩(大産大)  
 孝治⑩(大東大) 大田 隆太郎⑩(大産大) 北迫 隆太郎⑩(大産大) 北迫 隆太郎⑩(大産大) 北迫 隆太郎⑩(大産大)



前半は芦屋クラブの執念に攻めあぐねていた六甲だったが、後半一気に6トライを奪い突き放した。写真はチームの流れを変えたCTB・泉。

相手の技を全て受け止め、光らせて勝つ。前日(13日)に急逝したプロレスラー・三沢光晴さんを想わせる試合展開だった。自分のやりたいことだけやってサッサと勝つ長州力とは明らかに違っていた。

前半17・14のスコアリングは、この試合に全てをかけていた芦屋クラブの執念だった。しつこいまでの球のからみ、PRまで膝下に突き刺さった。キック処理のミスを見逃さず、トライになげた場面は、会場は沸きに沸いた。

「今までと(チーム力)全然違う相手でした。プレーが思い通りにいかず、皆イライラが募っているのが分かりました(遠藤主将)。少し重苦しい雰囲気の中でハーフタイム。円陣で戦術を再確認。闘魂を再注入した。

夜勤明けの泉が入りBKの切れ味が鋭くなった。後半1分、3分と立て続けにトライを奪うと、敵の足は完全に止まった。キックパスで活路を開こうとする芦屋クラブを完封して、2年連続で兵庫県代表の座を勝ち取った。

「六甲ファイティングブル」がスタートして約2ヶ月。「新メンバー」が加わり、練習に競争心が出た。勝つことの楽しさを実感できるようになってきた」と多くの部員が手応えを口にする。



決勝戦後、「このままじゃタマリバには勝てない」と伊藤部長が苦言を呈したように、課題はもろろんフィットネスだろう。「普段からやっていないと、自分のプレーに不安を感じてしまふ。逆にやっていたら自信になる」とベテランメンバーは語る。社会人や学生時代の経験や「貯金」だけでは絶対に勝てない。

### ROKKO注目プレイヤー

## 3人目の教師ラグーマン 中西圭



安達(No.8)平位(F.L.)にくく、3人目の「教師ラグーマン」が六甲にやってきた。泉(CTB)とは小中と幼なじみでヒロアキ(伊藤宏・F.L.)とは高校が同じ啓光。大体大の先輩後輩も多いし、加入して4カ月。みんなもすぐに受け入れてくれ、楽しくラグビーできてます」と濃い大阪弁で語る中西。大阪市立大正北中の体育教師だ。

前年度まで母校の名門・啓光学園でコーチをやっていた。ロイヤルブルー仕込みのその頭脳は、番長・北迫(P.R.)も「アイツはようラグビーを知ってる」と舌をまくほど。

完敗だったバーリアンズ戦・中西はこう分析している。「遠藤主将からの試合前の決め事が一つできてなかったですね。六甲は『どういうプランでトライを取るの？がない』。まだDFの練習しかしてないからですけど(苦笑)。

つなぐの、人数を余らせて、最終的にバック3もしくはサポートプレーでトライを狙っていくのか？FW勝負なのか？早いテンポで出すのか？ハードデフェンスからターンオーバー後、一気にトライを取りに行くのか？など。

表面の部分じゃなくて、具体的な部分を明確にしていかなければいけない。それを共通認識しないと。

●エリア獲得の仕方 ●キックチェイスFWの開き方 ●組織プレー ●地域別の攻撃方法 ●コンピュータ生かしてチーム造りが発展していきます。フィットネスはみんなそこそこあると思う。どんな風にして何をすればいいかを認識できればチーム力は格段に上がります。今、バラバラに無駄走りしているのがあるみたい。

「試合で、相手が格下のときは、個人力で、自分の力で勝てる。格上、また拮抗した相手にはチームの色がしっかり出ているほうが勝つし、有利に立てます。

また試合の駆け引き、相手のチカラを考えながらのプレーが今の六甲にはありません。つまりこれができれば流れが大きく変わるはず。六甲独自のラグビーを作ってみたいですね。」

4年ぶりに始めたラグビー。「またアツくなってきましたよ」と笑った。

### ROKKO注目プレイヤー

## ラグビー界を泳ぐ男 井口仁



井口仁が最後に選んだのは六甲だった。大体大を卒業後、ユニチカ↓カネカ↓神戸製鋼↓NZ↓金石SWと、多くのチームを渡り歩いてきた。それぞれのチームで競争を繰り返した経験・実績がそうさせるのか、口数も少ないその風貌からは「サムライ」職人の言葉がよく似合う。

金石SW時代には元オールブラックス・ピタアライ二ともCTBを組んだ。

7月末の北海道遠征。完敗の結果に「非常に不満ですね」と眉毛をヒクリとつり上げた。

「外国人も特にパンチある相手じゃなかったですし、結局は(現在の)チーム力の差が出たと感じています。チームの修正能力、対応力が若い。一番感じたのが、ゲームの中で『勝負』していないことですね。

・簡単にキックする・簡単に寝る・簡単に足を引く(モルタルタックル)・・・僕自身、仕事柄なかなか練習に足を運べないのが歯がゆいところなんです。もっと厳しい練習でチーム力アップが急務ですね。」

井口はタイブショップを経営する「青年実業家」の顔も持つ。北海道遠征は中西・平位らとともに「日帰り弾丸ツアー」を敢行した。バーバリソとの激闘後、タクスシーに飛び乗り、千歳最終便で帰阪。1時間の仮眠後、翌日の午前2時には南紀の海に向け出発した。四季を通じてラグビー場と全国の海を渡り歩く。

クラブチームであるからこそ、「言い訳はタヌ、選手たちはもっと自覚を持つべきだ」と井口は強調する。

「練習内容は首脳陣が決めること。足りないところは個人でやれば良い。ウチのチーム力は日本一。日本一の練習をすれば絶対日本一です。」

団体練習も兼ねた8月の練習。ミニゲームや、種目の合間に積極的に仲間とコミュニケーションを取る井口の姿が見られた。「このチームで日本一になって、学生王者に挑戦したい」。楯円球とともに世界を渡り歩いた男が「最後の夢」を実現する。

国体練習も兼ねた8月の練習。ミニゲームや、種目の合間に積極的に仲間とコミュニケーションを取る井口の姿が見られた。「このチームで日本一になって、学生王者に挑戦したい」。楯円球とともに世界を渡り歩いた男が「最後の夢」を実現する。

い。忙しい中でも時間を作って、自分を追い込んでいけば栄冠はない。事実タマリバはそれを実行して6連覇しているのだ。トップチームと戦って行くには、ウエイト・トレーニングも不可欠だ。フィットネス同様相手に勝つには基本になる部分。まだメンバーの中でやってなさそうな奴が多い。これもケガの防止になるし、自分への自信にもなる。チームに迷惑かけないようにしっかりとやるべきだ」と、この1年にラグビー1人生の全てをかける番長・北迫の言葉にも力が出る。今年はいけるって思っているけどどこかで落とし穴がある。先輩も後輩もなく、厳しくチームを律するためには悪役になるのも覚悟の上」と遠藤主将は胸毛・背毛よりも濃い決意を述べた。

険しく長い栄光への道。一戦ごとに新たなプライドを身につける六甲ファイティングブル。一生忘れられないシーズンになりそうだ。

#### ▽準決勝(6月7日・芦屋総合)

六甲ファイティングブル		4・24クラブ	
4	24	132	7
10	70	68	64
64	前14	0	70
10	T1	7	0
9	G1		
0	P0		
68	後7		
132	計7		

#### ▽予選プール2(5月10日・芦屋総合)

六甲ファイティングブル		栗の木ブラザーズ	
105	7	105	0
64	41	0	0
0	0		
0	0		
0	0		
105	計0		

#### ▽予選プール1(4月19日・芦屋中央)

六甲ファイティングブル		住友サムライズ	
136	5	136	7
70	60	0	5
0	5		
0	0		
0	0		
136	計7		

#### ▽予選プール3(5月31日・芦屋中央)

六甲ファイティングブル		武庫川ボンパーズ	
101	0	101	0
53	48	0	0
0	0		
0	0		
101	計0		

### ◆六甲ファイティングブル・今後の試合日程

月・日	大会名	会場
9/27	近畿ブロック大会 準決勝	吉祥院G
10/4	同決勝	宝ヶ池
10/18	関西クラブT1回戦	瑞穂
11/1	同準決勝	鶴見緑地
11/14	同決勝	豊岡市総合運動公園
12/27	全国クラブ大会T1回戦	熊谷
1/10	同準決勝	熊谷
1/31	同決勝	秩父宮
2/6	日本選手権 1回戦	秩父宮

※12月以降は未定

六甲ファイティングブルの次なる戦場は9月から始まる「近畿ブロックT」。全国大会の関西協会出場枠「1」を勝ち取るためには「近畿ブロックT」↓「関西クラブT」と負けられない戦いが続く。特に、10月以降は連戦が続くこともあり、選手には「ケガに負けない肉体づくり」と8月末までにさらなる戦力補強も必要とされる。

年末から始まる全国大会の初戦の相手は関東3位チームが予想される。「東日本トップクラブリーグ」を形成する関東勢は秋シーズンでタイトなゲームを続けるためにチーム力が急上昇することも。狂ったようにフィットネス練習を重ねるタマリバ、目玉飛び出る高学歴の駒場WMM、サモアCTBが軸の北海道BB、どのチームも強敵ぞろいだ。

### ◆トキめき新潟団体现出場決定！

予選で大阪府(JR西日本)に3年越しのリベンジー!

「第64回国体近畿ブロック予選」が8月26・30日、花園ラグビー場第2Gで行われ、六甲ファイティングブル主体の兵庫県代表は、1回戦大阪府(JR西日本)を13対6、準決勝・京都府(レッドエポリーション)を27対17と強敵を撃破。決勝の奈良県には43対15で快勝し、見事に近畿地区代表を勝ち取った。

5日で3試合とハードな日程、激戦でケガ人続出したが、「モレツ」を合言葉に戦い抜いた。本大会(トキめき新潟国体)は10月2・6日、新潟県・新発田市で開催される。強敵ぞろいだ、上位進出が期待される。